
彼女による“死”についての考察

南師

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼女による“死”についての考察

【Nコード】

N22520

【作者名】

南師

【あらすじ】

パソコンの前に座り作業をする彼に、彼女は“死”とはなにかの持論を語る。

「ひ、人の死とは、いいいいつたいなにを持って死と言えると思う？」

「さあね……俺は脳死が哺乳類における“死”だと思うが……よし」

「た、確かにそれが一般的な、い、医学的な死とて定義されているとはわ、私も思う。だが、ここで考えを変えてみようか。に、肉体の死ではなくなった、たま、魂の死についてだ」

「……………いけるか？……………ああ、だが魂なんて俺は信じちゃいないぞ」

「い、いやそういう根拠のない魂ではな、なくてだな、こう……………し、ししし信念とかプライドとかの」

「揺らすな。今大事な作業中だ」

「た、例えば私ならば子供が産めなくなったりしたば、場合は女としてのプライド、つまり魂が死ぬと同業ではないか？」

「……………あとのデータの修復は……………。まあな、だがそれは“死”というふうに定義していいのか？というか子供ってあんた」

「いい！プライドや信念は命だ！その誇りがなくなる時、私は死ぬ！子供が産めなくなっても私は死ぬ！！」

「よし、あとは……………ないな。バックアップとつとくか」

「そして信念を貫き通せない者は本当の意味で人生を生きてはいない！人間は魂に誇りを持たせてこそ輝き、生きる価値を見いだせるのだ！！……それなのに私は、私は」

「……あと15秒」

「私は……なんて事を……。私は私の誇りを、プライドを捨て、あげく殺してしまった！自らの誇りを曲げ、さらには殺してしまうなんて……もう、生きる価値も」

「ん」

「……ん？なに？」

「メモリーカード。壊れたデータを修復した」

「神様！！」

「もう、素人のくせにデータの改造なんかしようとするなよ？」

「うん！うん！やった！私の127時間が帰ってきた！さすが科技大生！愛してる！超愛してる！！」

「……なあ、データ直したんだから少し言うこと聞いてくれないか？」

「うん！聞く！何でも聞く！！」

「……そろそろ晩飯作ってくれよ母さん。もう、8時だぞ」

(後書き)

パソコンがどうのとか、詳しくは知らないのでノータッチで。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2252o/>

彼女による“死”についての考察

2010年10月10日12時34分発行